

さいたま市(埼玉県)の一体的実施①

平成24年3月1日事業開始

市内3区の区役所庁舎内に、「ジョブスポット大宮」「ジョブスポット浦和」「ジョブスポット岩槻」を設置し、市とハローワークによる生活困窮者に対する一体的支援を実施。

平成25年10月1日には、「ジョブスポット見沼」を新たに開設。

市

福祉サービス、相談の実施等

① 事業内容

- ・生活保護受給者及び住宅手当受給者等の生活困窮者に対する支援
(ジョブスポットの設置・運営、巡回相談の実施)
- ・セミナーの実施

② 協定・事業計画

- ・さいたま市長と埼玉労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を、さいたま市と埼玉労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

③ 運営協議会

- ・さいたま市職員、埼玉労働局職員、労使各団体代表者をメンバーとする運営協議会を設置



国

職業紹介・職業相談の実施等

大宮区、浦和区、岩槻区、見沼区の区役所内に「ジョブスポット」を設置し、残りの区には国の相談員が巡回相談を実施。身近な区役所で、福祉から就労までの支援を実現。

(1) 実施体制

4区の区役所内に常設窓口を設置。残り6区へは、国の相談員が巡回相談を実施。

市

各区に、

- ・キャリアカウンセラー 1名
- ・就労支援員 1名を配置（合計20名）

国

- ・職業相談員 計5名、就職支援ナビゲーター 計6名を4区の常設窓口に配置
- ・求人情報提供端末 計10台、職業紹介端末 計10台を4区の常設窓口に設置

(2) 事業目標と取組状況

	25年度事業目標	取組状況(平成25年10月末時点)
生活困窮者に対する就職支援	<p>◇就職件数 ジョブスポット浦和・大宮・岩槻・見沼の4施設合計で年688件以上 うち紹介就職560件以上</p> <p>◇セミナーの開催 ジョブスポット浦和・大宮・岩槻の各施設毎に年3回以上開催 (見沼については初年度につき年1回以上)</p>	<p>◇就職件数430件 うち紹介就職356件</p> <p>◇セミナーの開催 4回実施 参加者26人</p>

一体的実施事業による就職成功例

女性：50歳代 希望職種：介護職等資格を活かせる職種

直近の状況：持病があり定期的な治療を受けながら勤務していたが、体調がすぐれず退職した。

① 抱える課題

- ・多様な資格（第2種普通自動車免許・ヘルパー2級・医療クランク3級など）を持ちながら活かせていない。
- ・持病から基礎体力不足気味なため、資格を活かした職種に応募するも不採用が続いている。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・市の就労支援員は、本人の多くの職務経験等に注目し、経歴書の作成前提となる職務の棚卸しを実施した。また、米国大学卒業で英会話もできることから、子ども英会話教室講師など幅広く検討するよう促した。
- ・希望職種を介護職に絞り、2種免許も活かせるよう介護タクシー乗務員に応募するも、条件が合わず辞退。
- ・来所予定日に来所しないなどマイペースな面もみられたが、浦和区の就労支援員とハローワークの相談員が連携して、来所ペースを無理のない週1回としたところ、生活サイクルの安定とともに就職意欲も一層高まりが見られた。
- ・ハローワークの相談員より、求人情報の提供・相談・紹介を根気強く重ねた結果、事業主から希望条件に近い条件提示を受け、就職に至る。

③ 結果 ※支援期間 4か月

- ・訪問介護事業所の介護職として採用。1日6時間・週3日の勤務。
- ・事業所はフルタイムでの就業を希望していたが、本人の体力等を考慮し、徐々に勤務時間を延長してもらうことで合意した。

○ ハローワークの担当者の所感

過去に経験のある職種であったこともあるが、市の就労支援員との連携により粘り強く支援したことで、就労意欲も途切れることなく、就職に至ったものとする。